

グリーンテクノバンク・北方系機能性植物研究会
北の機能性作物活用シンポジウム
『作物生産技術・加工・機能性の解明とアグリビジネス戦略』
開催要領

環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉が大詰めになる中、一次生産者の経営活性化策としての6次産業化の推進活動が活発化しつつあります。一方、農水産業・食品産業の国際競争力強化を目的としたフード特区の推進策として「北海道食品機能性表示制度」がスタートから2年が経過し、多品目が認可され、道内農水産業・食品産業界にとって追風となって参りました。以上の背景を踏まえ、下記開催要領でシンポジウムを開催いたします。なお、本事業は農林水産省が実施する委託事業「事業化を加速する産学連携支援事業」の一環として実施するものです。

記

日 時：平成27年10月30日（金）13:30—17:00（会場 13:00）

場 所：北農ビル 19階、第1～3会議室

（〒060—0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地）

参加費：無料

主 催：NPO 法人グリーンテクノバンク、農林水産省

後 援（予定）：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、
（一社）北海道中小企業家同友会、（公財）北海道科学技術総合振興センター、
（一社）北海道食品産業協議会、（NPO）北海道バイオ産業振興協会

13:30—13:40 主催者挨拶

13:40—14:30 基調講演

「北方系小果実、アロニア、ハスカップ、ビルベリー由来の
ポリフェノールによる腸内環境改善」（仮題）」

コスモ・バイオ（株）プライマリーセル事業部 研究開発グループ
平 敏夫

14:30—15:00 講演1

「Fresh-cut 2015 に参加して
～北米で見たカット野菜産業の現状～（仮題）」

北海道大学大学院農学研究院 講師 実山 豊
（15:00—15:20 休憩）

15:20—16:10 講演2

「道産食材キクイモの機能性と食品加工」

東京農業大学 名誉教授 永島 俊夫

16:10—16:40 講演3

「プレハブ植物工場を利用したイチゴ周年生産の取り組み（仮題）」

富士通（株）北海道支社 農林水産営業部長 佐藤 直樹

16:40—16:45 閉会挨拶

.....
申し込みは、別添の申し込み用紙に必要事項を明記の上、メールあるいはファックスで
10月25日（日）までにお申し込みください。

申込み先：NPO 法人グリーンテクノバンク事務局

TEL&FAX: 011—210—4477、gtbh@almond.ocn.ne.jp

〒060—0002 札幌市中央区北2条西1丁目ピア2・1、5階